

自己点検・自己評価報告書

令和8年4月1日 現在

福井県理容美容専門学校

基準1 教育理念・目的・育成人材像

本校は教育基本法 の精神に則り、学校教育法ならびに理容師法、美容師法に従い、理容美容に関する学術理論を、教授して基礎知識と技能を習得せしめて、公衆衛生の普及ならびに文化の発達に貢献する有益な人材を育成することを目的と学則に示している。少子化に伴う学生減少の中、非常に厳しい状況ではあるが、継続的に人材育成に努めていく。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1	0
学校における職業教育その他の教育指導の特色が定められているか	④	3	2	1	0
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

*特記事項

理容師・美容師の国家試験合格が目的のひとつである。
全員合格を目指し、令和7年度の合格率は理容科 100%・美容科 100%であった。

基準2 学校運営

学生数はほぼ変わらないが、昨今の物価高騰の影響による経費の負担が増え単年度決算の赤字を減らす取組みのため、令和8年度に学生納付金を引き上げた。
学校の老朽化に伴う修繕、機器備品の取替等維持運営をしていくため、資金の有効な活用を考えていく。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1	0
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1	0
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1	0

＊特記事項(特徴・特色・特殊な事業等)

県内での理容科設置は本校のみであり、理容科の学生を増やすため理容組合と協力し高等学校、中学校等で課外授業を行い理容科のPRをする。

理容・美容両方の資格を取得するダブルライセンスを推奨している。美容科については、ライバル校もあり一層の努力をし、学生獲得に努める。

学生・保護者との緊急連絡網としてLINE システムを導入している。

ヘアショーの模様をInstagramで生配信し、広く情報公開した。また、学校の情報をInstagram、ホームページなどで定期的に投稿し、学校の教育活動等の情報公開に努めている。

基準 3 教育活動

学生が卒業して理美容所に就職し、戦力となるように国家試験合格はもとよりネイル、メイク、エステなど付加価値を高めるための授業に取り組んでいる。

ブライダルなどトータルファッションを学び、ヘアショーや、学校祭などで披露している。

卒業時には卒業作品展を開催し、より多くの方に見ていただく場を設けている。

毎年県内理美容室の参加を募り就職ガイダンスを行っている。また、実務実習を行うことで就職先の参考にしてている。

学生の技術向上の為、放課後を利用し個別に指導している。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	0
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	0
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	④	3	2	1	0
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1	0
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	0
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	0
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	0
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1	0
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1	0

*特記事項

学生の技術力と競争力を高めるため、日本教育センター主催の信越北陸地区理容・美容の学生技術大会に参加し、メンタルトレーニングや技術の向上に努めている。

学校関係者評価委員会を開催し、外部関係者からの意見を聞き、学校運営に対する今後の課題と対策について検討している。

即戦力になる技術を学ぶため、ストレートパーマ、カラー技術など県内の企業に指導していただく授業を取り入れている。

基準4 修学成果

入学目的である国家試験合格を第一の目標に指導しており、成果は着実に上がっている。今後も目標に向かって努力していく。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	0
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	0

*特記事項

少子化により絶対数が少なく、他校との競争が厳しいため、特別なことがない限り学校側が入学生を選ぶことはできない。

年に2回県内美容室の就職ガイダンスを行っている。

国家試験資格修得に向けて特別講習を行っている。

卒業時に仕事を辞めた時には学校へ連絡するよう伝え、次の就職先の相談にのるなど卒業後の追跡調査を含めたアフターケアを行っている。

基準5 学生支援

1. 就職の支援については、求人票を回覧し対応している。

今後も理容室、美容室との連携を図っていく。

2. 学生の相談については、カウンセラーはいないが、担任を中心に教職員がその都度親身になって相談にのっている。

3. 奨学金については、日本学生支援機構の申込者が年々増えており、貸与型に加え給付型の対応もあり取扱いには注意している。

4. 令和3年度より高等教育の修学支援制度の確認校となり、入学者や在校生、入学希望者に対して周知している。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
学生の健康管理を担う体制はあるか	④	3	2	1	0
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	0
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	0
社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	0
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1	0
関連分野における業界との連携により卒業後の再教育プログラム等を行っているか	4	③	2	1	0

＊課題と今後の改善策及び計画

高等教育修学支援制度対象者に対して、対象基準の成績等が対象外にならないように教職員間で注意を払う。また、定期的に学生とのヒアリングを行っていく。

＊特記事項

学校独自の特別奨学金はそれぞれ該当する学生に対し行っている。また、嶺南からの学生に対し、県の職員住宅を紹介している。4月、11月に就職ガイダンスを開催し、県内理美容室約50社が参加した。学生の就職に関する情報を共有し、理容、美容組合等と協力しながら対応していく。令和7年度の高等教育修学支援制度対象者18名。ダブルライセンス(通信)制度を周知徹底し、卒業後の再教育プログラムとして斡旋する

基準6 教育環境

1. 施設設備

移転建設後、35年以上経過していることもあり、建物が老朽化している。

2. 学生研修

2年次に国内研修を行い、関西方面にて技術研修及び店舗見学を含め行っている。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1	0
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	0
防犯に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	0

＊課題と今後の改善策及び計画

建物・設備・備品等も含め古くなっているため、必要に応じて大規模修繕等を行い危険個所の整備に努める。

令和7年度に理容実習室のシャンプー台の入替に伴う実習室の改修を計画し令和8年度完成を予定している。

＊特記事項

令和6年度から計画的に校内の一部クロス貼替を行っている。

基準7 学生の受け入れ募集

大学進学率の向上、少子化、経済状況の悪化で入学希望者が減ってきている。高校に出向いて理容師・美容師職への理解を求めているが大学進学希望者が多く難しい状況である。

小中学生に対しては、職業体験の受け入れ、出前授業などを行い、理美容業を体験しながら興味を持ってもらえるよう努力している。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1	0
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	0
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

＊特記事項

オープンキャンパスを行うことにより学生募集につなげている。

オープンキャンパス参加者と直接対話ができる機会（クロージング）を設け、入学に繋がる話をしていく。

高校の進路指導室を訪れ、情報収集に努めている。

基準8 財務

少子化と理美容師希望者の激減により、単年度赤字が続いているが、引き続き経費の節減に努め、より多くの学生を確保し、財政基盤の安定を図る。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	0
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	0
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

基準 9 法令等の遵守

法令や専修学校設置基準等は遵守している。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	0
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1	0
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

基準 10 社会貢献・地域貢献

要請があれば、可能な限り積極的に地域のイベント等に教職員及び学生が参加している。

地域の催し等で要望があれば無料で駐車場の貸出もしている。

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1 該当なし…0				
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	0
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	0
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	0